

令和 6 年度 学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	中学 5	学 校 名	鹿島高等学校附属中学校				課程		学校長名	小沼 浩幸						
教頭名	荒井 孝幸								事務 (室) 長名	荒張 明						
教職員数	教諭	11	養護 教諭	1	常勤 講師	1	非常勤 講師		実習教諭、実習講師、 実習助手		事務職 員		技術職 員等		計	17
生徒数	1 年		2 年		3 年		合計						合 計			
	男	女	男	女	男	女	男	女					ク ラ ス 数			
	20	20	20	20	20	20	60	60					3			

2 目指す学校像

<ul style="list-style-type: none"> ◇ 6年間を見通した教育実践をとおして、確かな学力を育むことのできる学校 ◇ 様々な人々との交流を通じて、豊かな人間性とコミュニケーション能力を育むことのできる学校 ◇ 文武両道の精神のもと、心身の健全な発達を育むことのできる学校

3 現状分析と課題 (数量的な分析を含む。)

項目	現状分析	課題
学習指導	入学者選抜を経て入学してきた生徒であり、学習に対する意欲や向上心が高い。	年間をとおして学習意欲を維持させる必要がある。
進路指導	併設型中高一貫教育校の特色を生かし、6年後を見据えた進路指導を展開している。	本校近隣に大学などの高等教育機関がないので、大学見学や進路講話などを通じて大学進学へのイメージづくりを行う必要がある。

別紙様式 1 (中)

生徒指導	落ち着いた学校生活を送っている。広域からの通学のため登校時間を高校に合わせて設定している。	引き続き、いじめのない安心安全な学校作りに向けた教員間の共通理解。交通安全への意識喚起。
特別活動	生徒会活動・部活動に積極的に取り組もうとする姿勢が見える。スクールバスの運行に合わせ、部活動を展開している。	生徒会主体となり、異学年交流を行っていく。
渉外	高校進学後に各支部でのPTA活動となることを見据え、各クラスにおけるPTA活動をサポートしている。	学年委員の保護者にもPTA評議会に参加していただき、学校と保護者の協力・連携をより強めていく。
図書視聴覚	図書室を活用して積極的に読書をする生徒が増えるよう、ブックカフェ等で図書館と本のPRを行っている。	さらなる生徒の読書意欲の喚起を生徒図書委員とともに実施していく。
保健厚生	教室の換気、手指の消毒を徹底している。	感染症に対しての意識の保持に努める。
情報	それぞれの生徒が1人1台学習用端末を適切に使用することができている。	情報機器の適切な使い方について確認し、情報モラルに対する意識を高めていきたい。
教育相談	希望する生徒に対してSCとの面談を行うことができている。また、中学1年生に対しては全員面談を行うことができた。	相談に時間を要するケースもでてきており、調整を円滑に行っていく。
広報	学校説明会・学校公開・HPなどを利用して、本校の指導体制や特色を発信していく。	学校HPの更新頻度を上げ、学校生活の様子を知ってもらえるようにする。
働き方改革	開校5年目を迎え、業務内容が多岐にわたり、複雑になっている部分がある。	ICTの有効利用や組織として業務の見直しを行い、全員が時間外勤務月45時間以下になるように努める。

4 中期的目標

1	生徒の自主的活動を支援し、自分たちの学校を自分たちで築いていくという気概を持たせる。
2	学校行事等への積極的な参加を促すとともにキャリアパスポートを活用し、学校生活を豊かに送れるようにする。
3	生徒が意欲を持って学習に取り組めるよう生徒の意識調査等を行い、学習に対する相談や進路相談活動の充実を図る。
4	生徒の体力の向上を図るため、継続的な事業を計画立案し、実施する。
5	国公立大学等への合格者数を増やすため、目的意識を明確にしつつ、学習努力を継続するための支援をする。
6	教員のワークライフバランスの見直しと、働きやすい職場環境の構築を図り、働き方改革を推進する。

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
学力向上	生徒の学力向上に努める。そのために、学習指導の充実を図り、手段として I C T 機器の効果的な活用に取り組む。
I C T 教育の充実	県から 1 人一台貸与されている Chromebook を効果的に活用し、Google Classroom や Classi 等の学習支援アプリを活用した学習スタイルを確立させていく。
基本的な生活習慣の確立	学校全体として統一的な指導体制を堅持し、家庭や関係機関との連携を組織的に進めながら、自主的・自律的かつ責任ある行動のとれる人間の育成を図る。
探究学習の推進	本校独自の探究の取組を考案し、実践しながら探究学習の充実を図る。
コンプライアンスの徹底（「たいせつです」運動）及び働き方改革の推進	「たいせつです」運動（体罰の根絶・飲酒運転の根絶・セクハラ等の根絶・使い込みの根絶・データ漏洩の防止・スピード違反の防止）の推進を含め教職員のコンプライアンス意識を高め、服務規律の確保に努めるとともに、教職員の「働き過ぎ」を防ぐなど働き方改革を推進する。
授業改善	◇授業満足度（K P I）3.6 以上の達成